## ■▽■▽ 平成21年度 化学プロセス数学 期末テスト ▽■▽■

2009.7.27 K H.Takiyama

以下の問いに答えよ。必要であれば実際にプログラムして解答せよ。

- **1** 次の問に答えよ。
  - (1) 化学工学分野では数式を使ったモデル化が行われる。モデル化とは何かを、次のキーワードを 使って説明せよ。キーワードには下線を引くこと。Simulation、パラメータ
  - (2) 化学工学分野で、なぜ「モデル化」が重要なのかを述べよ。
  - (3) 最近の科学に関する News の中で、「モデル化」によって解決されたと思われる事柄を解説し なさい。ただし、何が入力で、何が出力なのかを明記しておくこと。
- | 2 | 次の微分方程式を数値的に解き、厳密解と比較せよ。

 $\frac{dy}{dx} = \frac{y}{x^2}$  ただし、 $1 \le x \le 4$  の範囲内で

Step	Χ	数値解	厳密解
0	1.0		
1	1.5		
6	4.0		

x = 1.0 のとき y = 1.0 とする。また、きざみ幅は 0.5 とせよ。解答は表例に従って示せ。

**3** | メタノール(A)ー水(B)系の圧力 P=101.3kPa で沸点計算( $x_A$ を与えたときの温度)を行いたい。 次の問に答えよ。ただし、非理想系であり、活量係数数  $\gamma_A$ 、 $\gamma_B$  と飽和蒸気圧はそれぞれ次式で 与えられる。メタノールの沸点は 337.7K、水の沸点は 373.2K とする。

$$\ln \gamma_A = (0.8517 - 0.7738 \cdot x_A) \cdot (1 - x_A)^2 \qquad \qquad \ln P_A^0 = 17.5977 - 4383.0 / T$$

$$\ln \gamma_B = (0.4648 + 0.7738 \cdot (1 - x_A)) \cdot x_A^2 \qquad \qquad \ln P_B^0 = 18.1621 - 5054.0 / T$$

- (1) この問題を解くための全ての「方程式」を定義し、「構造行列」を示せ。
- (2) 沸点計算をする場合、この方程式系の解き出し方(手順)の一つを示せ。
- (3) 液相組成  $x_A$  が 0.3 モル分率のとき、平衡温度 T と気相組成  $y_A$  を求めよ。
- 4 A+B→R の定容系として進行する液相反応の速度が、ある温度で、

 $r = k \cdot C_A^{0.5} \cdot C_B^{1.5}$  [kmol/(m<sup>3</sup>·min)]  $k = 8.0 \times 10^{-3}$  と与えられる。

いま、 $C_{A0}=1.5 \text{ kmol/m}^3$ 、 $C_{B0}=4.0 \text{ kmol/m}^3$ 、 $C_{R0}=0.0$  を含む原料を用いて、この反応を回分操作で進行 させる。次の問に答えよ。

- (1) 反応率  $x_A$  の経時変化を示す微分方程式を、 $x_A$  の関数として定義せよ。
- (2) 微分方程式を実際に解き、成分 A の反応率  $x_A = 0.9$  を得るのに必要な反応時間  $\theta$  を求めよ。

5 │ 充分に冷やされた金属が、室温 30℃の温調の効いた部屋に置かれた。この金属は 10 分後には 0℃ になり、20 分後には 15℃になった。この金属の初期温度(部屋に置かれた時点の温度)を知りたい。 次の問いに答えよ。

- (1) 題意を図で示し、問題を解くために必要な変数を適宜決め、それらを書き込め。
- (2) 金属の温度 T の、時間変化を表すモデル式を示せ。
- (3) 実際に、金属の初期温度を求めよ。

2009/7/27

「化学プロセス数学」講義期末アンケート(5段階で評価してください) (1)前半講義、後半プログラミング、どちらに興味が持てましたか? 前半の講義 1 2 3 4 5 後半のプログラミング

1 2 3 4 5 1 2 3 4 5 (2)前半の座学での講義の難易度はどの程度でしたか? 難しかった 易しかった

(3)後半のプログラミングの難易度は? 難しかった

易しかった (4)講義のスピードはどうでしたか? 早かった 3 4 5 遅かった

(5)今回の試験、大問1つを20点の100点満点としたとき、自分の予想点は何点?

(6)「化学プロセス数学」について、私へのメッセージ、講義の感想など、自由な意見を書いてください。